

総務厚生常任委員会 12月13日

計画の具現化に向けて

白鷹町振興実施計画の策定について説明を受けた。

町当局の説明

【概要】

振興実施計画は、総合計画を受け実施する具体的な事業の内容を示す計画で、毎年のサイクルで改訂を繰り返す。（期間は3年間）

【視点】

今回は以下の3点を加味することをポイントとしている。

- ①各分野における担い手不足、組織力低下への対応（地域人材ベースキャンプの設立）
- ②デジタル変革の加速
- ③グリーン取組（緑の循環システム、脱炭素社会の推進、森林の航空レーザ測量の実施など）

質疑

集落支援員制度とは

【委員】集落支援員制度は、どのような内容か。

【当局】国の制度を使い、コミュニケーションに配置し、地域課題の解決に向けさまざまな活動をしていけないか検討している。

デジタル化のPRは

【委員】マイナンバーカードと連動したワクチン接種証明アプリもあるが、PRはどう考えているか。

【当局】健康福祉課と連動してPRについて検討していきたい。

最適な学校環境を考える

白鷹中学校再整備計画の検討について説明を受けた。

【背景】

白鷹中学校では、生徒がさらに頑張ることのできる環境を整えるため、400メートルトラックの整備、空調設備のある体育館など機能強化について検討を行ってきた。しかし、敷地に拡張性がなく、一部が土砂災害特別警戒区域内にあるなど困難な状況にある。

【今後の対応】

施設の再配置を含め、関連する施設について新たなグラウンドデザイン（全体構想）を描き、調和の取れた最適な環境を考えていく必要がある。

当面の対応としては、体育館床の損耗対策とグラウンドの排水対策を早期に行う。

質疑

スケジュールは

【委員】体育館床の改修とグラウンドの排水対策のスケジュールはどうなるか。

【当局】令和5年度に調査を行い、6年度に体育館床改修、7年度に排水対策を計画しているが、調査結果を基に計画したい。

応急対策を取れないか

【委員】グラウンドからの排水により、大雨のたびに被害が予想される。応急対策を取れないか。

【町長】現在の用水路では排水しきれない。時間的な部分で平均的に流す必要性から調整池も検討している。



排水対策が大きな課題

- その他の説明
- 令和4年度給与改定等
 - 第3次白鷹町環境基本計画（中間報告）
 - 第2次白鷹町エネルギー計画（中間報告）など